

令和元年度

県立図書館アクションプラン

1 運営方針

県民の生涯学習に対するニーズに広く応えるよう図書館機能の充実を図ります。

・ 調査研究のための図書館

資料や情報の提供、書誌の作成等を行い、生涯学習のための図書へのアクセスの向上に努めるなど、情報化を推進します。

・ 図書館のための図書館

市町村や学校の図書館等を支援するとともに、関係機関と緊密に連携し、市町村等の図書館を通じて県民の利用ニーズに応えます。

・ 保存のための図書館

一般図書、郷土資料・新聞・雑誌等を広く収集・整理・保存するとともに、貴重な資料等を活用したふるさと教育を一層推進します。



2 特色

県立図書館は、県民の情報センターとして、県民の「読みたい、知りたい、調べたい」ニーズに応え、資料収集や情報提供に力を入れています。どこでも十分な図書館サービスが受けられるよう、相互貸借や横断検索などにより、市町村立図書館等をサポートしています。また、郷土関係資料を整備するなど、資料収集方針に基づき、蔵書資料の充実に努めています。

人口規模相応の水準ではインターネット検索、相互貸借、レファレンスは高く、利用者数、貸出冊数、蔵書冊数は水準相応です。全体の職員数は水準より少なく、限られた職員で効率的に運営し、レファレンス、県内図書館支援等のサービスが充実しています。

3 現状

平成30年度末現在、蔵書冊数977,171冊、このうち郷土資料は172,054冊、特設文庫38,463冊を所蔵する県立図書館です。

蔵書検索(WebOPAC)を含む利用者数は1,294,242人で対前年度1.2%増加、県内外図書館への貸出借受冊数は25,814冊で、1.1%増加しています。また、貸出冊数は175,390冊で1.0%増加、調査相談件数は13,654件で1.1%増加しています。

4 重点目標

社会の変化に対応し、県立図書館の中長期的なあり方を検討し、県民の課題解決に寄与することを通じて地域文化の振興に貢献するとともに、学校教育を支援し、家庭教育の向上に寄与する図書館づくりを進めます。

以下の3つの観点から図書館に係る重点事項に取り組みます。

- (1) 魅力向上と業務効率化
- (2) 地域情報発信と情報化
- (3) 学校教育への支援、関係機関等との連携とネットワークの構築

5 重点事項

(1) 魅力向上と業務効率化

- ・富山県の歴史、文化、自然など、郷土の理解に役立つ資料を広く収集します。また、電子版行政資料の継続的収集・提供に努めます。
- ・高齢化社会、障害者サポートに対応するため、大活字版図書を継続的に収集します。
- ・小学校における英語教育の早期導入と教科化を見据え、英語絵本や英語多読資料の収集に努め、新たな提供方法を検討します。
- ・レファレンスサービスを充実し、利用者に満足してもらえる資料や情報を提供していきます。さらに、ビジネス情報や社会生活に必要な情報に手軽に接することができるよう、雑誌スポンサー制度を充実します。
- ・高度な図書館サービスを目指し、各種研修会への参加を通じて、図書館職員の資質の向上を図ります。また、実践的な研修の機会を提供して、県内図書館支援を強化します。
- ・アクションプランを毎年見直し、県立図書館の中長期のあり方を図書館内で検討します。

(2) 地域情報発信と情報化

- ・地域研究やふるさと教育を推進するため、富山県に関する企画展示を定期的に行います。また、それらに関する文献リストやパスファインダーを作成し、県民に提供します。
*パスファインダーとは、あるテーマに関する資料や情報を探すための手段を紹介するもの。
- ・広く県民に情報発信するため、SNS (Twitter など) を活用した広報を推進します。
- ・郷土に関するレファレンスデータを蓄積し、地域情報の共有化を図ります。
- ・図書館見学ツアーや図書館活用セミナーなどを実施し、図書館利用の普及啓発を行います。
- ・情報プラザのシステムを更新し、調査研究環境の維持、サービスの向上を図ります。

(3) 学校教育への支援、関係機関等との連携とネットワークの構築

- ・高志の国文学館での図書受渡サービスを継続し、利用者の利便性向上を目指します。
- ・ふるさととやま 100 冊の本をはじめとして、県立学校等図書館への団体貸出を推進します。
- ・公共図書館間及び高等教育機関との連携を強化し、遠隔地利用者の利便性向上や広域的な相互貸借の充実を図ります。
- ・東海北陸地区公共図書館研究集会を開催し、成果を連携・サービスの向上につなげます。
- ・大学図書館と連携して「富山ビギナー講座」などに協力し、図書館の魅力を発信します。
- ・県議会図書室と連携し、行政機関が求める資料や情報の提供に努めます。
- ・講演会や企画展示・雑誌スポンサー制度等を通じて、関係機関や企業との連携を図ります。
- ・図書館見学・14 歳の挑戦・図書館実習等を受け入れ、図書館における学びを支援します。

6 参考指標

*インターネットによる蔵書検索

指標名及び指標の説明	28 年度	29 年度	30 年度
利用者数 来館者及び*WebOPAC、電話・文書を含めた利用者数	1, 186, 511	1, 110, 488	1, 294, 242
貸出総冊数 個人・図書館への貸出、団体貸出を含めた冊数	185, 439	170, 410	175, 390
レファレンス件数※ 調査相談の件数	19, 535	12, 833	13, 654
横断検索件数 県内図書館蔵書横断検索システム利用件数	188, 915	193, 157	191, 042
郷土資料アクセス件数 郷土資料情報データベースのアクセス件数	3, 972	5, 524	4, 867
催事件数 企画展示・講演会・研修会等の開催回数	38	42	41

※平成 28 年度のレファレンス件数には相互貸借資料斡旋のための所蔵調査件数を含む。